

2024年10月16日

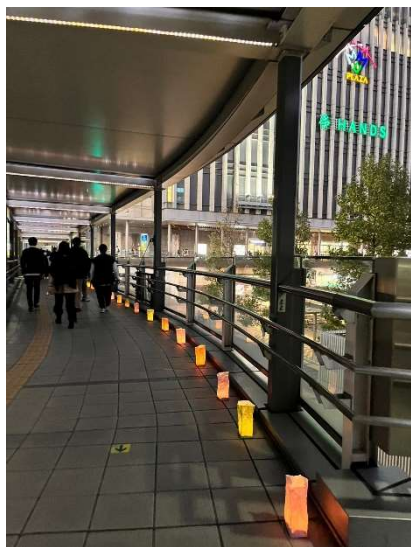
～博多の秋の風物詩～

「博多灯明ウォッチング 2024」参加のお知らせ

博多部まちづくり協議会が主催している「博多灯明ウォッチング」が今年も開催されます。「博多灯明ウォッチング」は、灯明で夜の博多の街を照らし出すイベントで、今年で22年目を迎え、毎年約3万人を超える市民の皆さまに楽しんでいただいております。

博多まちづくり推進協議会としては、「灯りの道しるべ」と題し、博多駅から承天寺通りに灯明を設置し、メイン会場周辺までの通りを明るく照らします。今年は新たな取り組みとして、例年通りの灯明に加え、廃棄物を再利用したアートのキュレーションを行っている「ACTA+（アクタプラス）」とタイアップいたします。福岡にちなんだ廃棄物を再利用して、アーティストがアート灯明を制作いたします。

例年とはひと味違う灯明をぜひお楽しみください。皆さまのお越しをお待ちしております。



(昨年開催の様子)

【第28回博多灯明ウォッチング 2024 開催概要】

日 時：2024年10月19日（土）18:00～21:00（少雨決行）

開催エリア：博多部一帯

- ・奈良屋周辺地域
- ・大浜周辺地域
- ・御供所周辺地域
- ・冷泉（櫛田神社）周辺
- ・博多リバレイン周辺
- ・博多千年門周辺、JR博多駅周辺（当会のエリア）

主 催：博多部まちづくり協議会（奈良屋、大浜、御供所、冷泉）

主催者 HP：<https://hakata-toumyou.com/>

ACTA+とは

ACTA+は、世界中の約 500 名のアーティストと協力し、人々から見放され捨てられてしまう物・素材（ACTA=芥）を活用し、美しい作品に変えることで、「持続可能性の新たな形」を提案しています。それによって本来であれば、しなければならない「正論」である持続可能性を「憧れ」に変える文化の醸成を目指しています。

ACTA とは、芥(あくた)という昔日本で使われていた廃棄物という意味を持つ言葉に由来します。

【事業内容】

- ・廃棄物を使用したアート・インテリアプロダクトの納品／制作
- ・廃棄される素材を用いた廃棄物アート関連企画の実施
- ・企業様の対内外へ向けたサステナブルブランディングの企画 など

ACTA+

【アート灯明の作品プラン】

ACTA+ がネットワークを持つアーティスト 5 名が本イベントのアート灯明を制作します。アート灯明は承天寺通りに設置予定です。

◆アーティスト①：富山 知紗（とみやま ちさ）

大川組子や八女手漉き和紙、八女提灯、高取焼の廃材を使用し、アーティスト自身のテーマ素材であるブルタブと掛け合わせて制作。

◆アーティスト②：高梨 麻梨香（たかなし まりか）

久留米緋のハギレを加工し、コラージュして制作。

◆アーティスト③：ミルクぱく子

久留米緋のハギレとアーティスト自身のテーマ素材である牛乳パックを掛け合わせて制作。

◆アーティスト④：しばた みなみ

曲げわっぱを生産する工程で不要になった木材と、自身のテーマである廃棄プラスチックや海洋漂流物を掛け合わせて制作。

◆アーティスト⑤：大本 航（おおもと わたる）

久留米緋のハギレを、抽象的なパターンで表現し制作。

【アート灯明に使用する廃材のイメージ】 ※写真はイメージです。

自宅に眠っていた八女提灯、大川組子の端材、閉所したわっぱ工房から譲り受けた素材、久留米緋の切端など。



【お問い合わせ】

博多まちづくり推進協議会（九州旅客鉄道(株)事業開発本部開発部 博多まちづくり課内）

TEL：092-474-7243（平日 10 時～17 時） E-mail：hakatamachikyouto@jrkyushu.co.jp